



一 般 質 問 通 告 書

□一括方式

■一問一答方式

質問
順番

9

東海村議会議長 吉田 充宏 様

議席番号 10 番 議員氏名 笹嶋 士郎

質問事項 (件名)	村の基金運用を考えては	答弁者 担当部長
要旨（具体的に） 日本の政策金利は、1999年から事実上のゼロ金利政策が始まり、2016年に世界でも珍しい「マイナス金利」も導入した。しかし、2024年3月、物価上昇を受けて17年ぶりに利上げに転じ、2026年6月には1.0%へと引き上げた。また、日銀の植田総裁は、7月31日の記者会見で、9月以降の早期に政策金利を引き上げると強く示唆した。市場では、9月、12月引き上げ1.5%程度にするとの見方も出ている。 昨年的一般質問で村の財政に関し、財政調整基金などについても利息の付かない決済用普通預金の在り方や債券などを運用し利益を出すべきと質問した。村は、利息など運用益を出して収入を得るべき時が来ているのではないかと。 以下2点伺う。 1. 基金会計で使用している「決済用普通預金」とは何か。 2. 財政調整基金や減債基金などの一般会計の基金、また特別会計や企業会計の基金について、いつから「決済用普通預金」を使用しているのか。また、使用している理由は。		

質問事項 (件名)	事務事業の見直しの現状について	答弁者 担当部長
要旨（具体的に） 令和7年度までに一般会計の事業費が拡大し、財政調整基金からの繰入れを余儀なくされた。その財政調整基金も令和7年度末で40数億円まで枯渇したことから、次年度予算の作成に支障があり、事務事業の見直しが急務ではないかと質問した。村長からはその必要性が答弁され、事務事業の見直しを指示しているとの答弁があった。 現在の事務事業の見直しの現状を伺う。		

乙 表

氏 名	笹嶋 士郎	No. 2
-----	-------	-------

質問事項 (件名)	真崎十字路の雨水対策後の豪雨対策は	答弁者 担当部長
要旨（具体的に） 近年のゲリラ豪雨は、時間雨量が１００ミリを超え甚大な被害を及ぼしている。８月１３日から１４日にかけて千葉県に線状降水帯よる河川の氾濫や浸水被害が起きた。その後も、東京都や埼玉県、神奈川県、関東近県及び茨城県においても県南などで、線状降水帯による浸水被害が発生している。幸い村での被害はないが、いつ被害が発生しても不思議ではない状況である。 村の状況は、百塚集会所駐車場スペースに雨水地下貯留施設を設置し、今年から真崎十字路雨水対策と豪雨対策が行われているが、豪雨は毎年のように住民の生活を脅かしている。今後、雨水対策事業の年次計画を立て、浸水箇所の解消を目指していかなければならないと思う。 以下２点伺う。 １．村内の現在把握している浸水箇所はどこか。 ２．今後、解消に向けた雨水対策計画はあるのか。 【資料請求】現在把握している浸水箇所（箇所図面添付）		

質問事項 (件名)	中学校の部活動地域展開の進捗状況について	答弁者 担当部長
要旨（具体的に） 中学校部活動の地域展開は、公立中学校の運動部活動、文化部活動を含めて地域クラブ等が担う形に段階的に切り替える改革である。 村は、SC スマイル TOKAI を中心として、県内でも先進的に部活動の地域展開を進めている。しかし、移動の安全性や指導者及び実施場所の確保、費用負担増などの問題も出てきている。現在の進捗状況を伺う。 また、地域展開が進んでいない部活動及びその問題点を伺う。		